

学生の皆さんへ

理事・副学長（教育・国際担当）

理事・副学長（学生支援・広報担当）

新型コロナワクチン接種と乗船実習や実験・実習との
兼ね合いに関する留意事項について（通知）

新型コロナウイルス感染症のワクチンについては、当該感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待され、政府として感染防止のため速やかなワクチン接種を推奨しています。

学生の皆さんには、その効果や副反応などをご自身でご確認いただいた上で、ワクチンの接種を希望するかどうかを判断し、希望する場合には、早めに接種されるようお願いします。

なお、今後、乗船実習や実験・実習の授業を予定している学生、特にその履修が資格取得等の条件となっている場合は、ワクチン接種に当たりまして、次の事項に留意してください。

- 1 特に若い方に多いと言われていますが、ワクチン接種後に副反応として発熱する場合があります。発熱の症状があった場合は、副反応による発熱か、当該感染症罹患による発熱かの区別は容易にできませんので、大学としては出席停止期間として取り扱います。

つまり、たとえ副反応での発熱であったとしても、翌日から8日間は対面授業などに参加することはできません。そのことも踏まえ、ワクチンを接種する場合は、乗船実習や実験・実習の授業などが始まる10日前には終えてください。

- 2 1回目のワクチン接種後、ファイザー社のワクチンは3週間後以降に2回目を、モデルナ社のワクチンは4週間後以降に2回目を接種することとなっています。

1回目と2回目のワクチン接種の間に、実習等の授業を受けることは可能ですが、上記1に留意するとともに、接種予約日に乗船していて接種できないなどのことがないよう、学生の皆さんご自身で1回目及び2回目のワクチン接種の日程を計画してください。

【検討に当たっての参考資料】

新型コロナワクチンに関する情報は、次の URL をご参照ください。

- 厚生労働省新型コロナワクチンについて

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

- 厚生労働省新型コロナワクチンQ&A

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

